

区民委員会情報連絡

令和7年12月5日

情報連絡事項	頁
1 「多文化共生とやさしい日本語セミナー」の開催について	2
2 「L・フェスタ2025あだち」の開催結果について	4
3 生涯学習関連施設の使用申請及び使用料減免手続きの運用変更について	6
4 令和8年2月までのパラスポーツイベントの開催について	9
5 障がい者向けサービスの隣接市への拡充に関する検討結果について	13
6 録音図書再生機貸出における郵送対応の実施について	15

(地域のちから推進部)

区民委員会情報連絡

令和7年12月5日

件名	「多文化共生とやさしい日本語セミナー」の開催について											
所管部課名	地域のちから推進部地域調整課											
	東京都つながり創生財団および近隣区との協働事業として、「多文化共生とやさしい日本語セミナー」を次のとおり開催する。											
内 容	1 開催目的 外国にルーツを持つ当事者から生の声を聞きつつ、やさしい日本語の実践的な活用法を学ぶことで、多文化共生への理解と円滑なコミュニケーションの手法を習得する契機とする。											
	2 主な対象者 日本語ボランティアに興味がある方や、外国人との関わりに关心のある方など											
	3 開催概要 (1) 日時 令和8年1月10日（土）午後3時から5時30分まで											
	(2) 会場 東京芸術センター 天空劇場											
	(3) 内容	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>内容</th><th>詳細</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">第1部</td><td>① 基調講演</td><td>「外国にルーツを持つ日本育ちの当事者」および「外国出身者」がそれぞれの立場で語る自身の経験談</td></tr><tr><td>② 対談</td><td>各テーマ（言葉・偏見・将来など）についてのクロストーク</td></tr><tr><td>第2部</td><td>やさしい日本語ワークショップ</td><td>日本語教師によるやさしい日本語^{※1}の基礎を学ぶ講座 (会話、説明、記述に関するグループワーク)</td></tr></tbody></table>		内容	詳細	第1部	① 基調講演	「外国にルーツを持つ日本育ちの当事者」および「外国出身者」がそれぞれの立場で語る自身の経験談	② 対談	各テーマ（言葉・偏見・将来など）についてのクロストーク	第2部	やさしい日本語ワークショップ
	内容	詳細										
第1部	① 基調講演	「外国にルーツを持つ日本育ちの当事者」および「外国出身者」がそれぞれの立場で語る自身の経験談										
	② 対談	各テーマ（言葉・偏見・将来など）についてのクロストーク										
第2部	やさしい日本語ワークショップ	日本語教師によるやさしい日本語 ^{※1} の基礎を学ぶ講座 (会話、説明、記述に関するグループワーク)										

※1 「やさしい日本語」とは、文法・言葉のレベルや文章の長さに配慮し、わかりやすくした日本語のこと。

(例)

一般的な日本語	やさしい日本語
出身はどちら？	→ どの ^{くに} 国 ^{から} 来ましたか？
直ちに避難してください	→ はやく逃げてください

(4) 登壇者

	登壇者	プロフィール
第1部	矢野デイビット氏	日本人の父とガーナ人の母との間にガーナで生まれ、6歳から日本に移住。学生時代からモデルやCMの仕事を始める。複数のテレビ番組に出演するほか、音楽活動とともに国際協力や児童養護施設での福祉活動も行う。
	国際夫婦漫才コンビ フランポネ	日本人とスイス人の国際夫婦漫才コンビ「フランポネ」として活動。国際夫婦ならではの多言語・多文化的な笑いによる「お笑いを通じた社会課題の解決」をテーマに、日本と世界をつなぐ活動を続けている。
第2部	有田玲子氏	日本語教師として「やさしい日本語セミナー」等の講座を開催するなど、各地で活動する。また、文科省日本語学習サイトの作成や、東京都多文化共生コーディネーターとしても活躍する。

(5) 定員

100名

※ 会場の収容人数は最大400名だが、グループワークの受入人数に限りがあるため、定員を100名とする。

(6) 参加費

無料

(7) 参加方法

WEB上の応募フォームから申込（応募者多数の場合は抽選）

(8) 主催

公益財団法人東京都つながり創生財団、足立区

(9) 協力（多文化共生中域ネットワーク城東ブロック）

荒川区、江戸川区、葛飾区、墨田区、台東区

(10) 周知方法

あだち広報12月10日号やホームページに掲載するとともに、駅構内や区内施設でのチラシ配架、各区の広報協力により周知を図る。

区民委員会情報連絡

令和7年12月5日

件名	「L・フェスタ2025あだち」の開催結果について																					
所管部課名	地域のちから推進部多様性社会推進課																					
	<p>足立区女性団体連合会と区の共催イベント「L・フェスタ2025あだち」を開催したので、次のとおり報告する。</p> <p>1 目的 区民の相互理解や交流を深め、性別に関係なく、その個性と能力を十分に発揮することのできる男女共同参画社会の実現を目指す。</p> <p>2 テーマ だれ一人、取り残さない社会を</p> <p>3 開催日時・会場</p> <p>(1) 開催日時 令和7年11月8日(土)・9日(日) 両日とも午前10時から午後3時まで ※ 国の「女性に対する暴力をなくす運動」期間 11月12日から11月25日まで</p> <p>(2) 会場 エル・ソフィア</p> <p>4 参加人数と主な企画</p> <p>(1) 参加人数合計 3,196人(2,461人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>主な実施内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">11/8 (土)</td> <td>大正琴演奏</td> <td>181人</td> </tr> <tr> <td>体組成測定・ベジチェック</td> <td>328人</td> </tr> <tr> <td>講座「包括的性教育をめざした授業 を大人も受けてみよう」</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>その他を含む合計</td> <td>1,951人 (895人)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">11/9 (日)</td> <td>ジェンダートーク&ライブ 「自分 らしく生きる」(ハリウリサ氏)</td> <td>79人</td> </tr> <tr> <td>赤ちゃんから楽しめる クラシック コンサート</td> <td>136人</td> </tr> <tr> <td>講座「性暴力のない社会社会を目指 して～“同意”って何だろう?～」</td> <td>※ 講師体調不 良に伴い中止</td> </tr> <tr> <td>その他を含む合計</td> <td>1,245人 (1,566人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 合計は延べ人数、() 内は令和6年度参加人数</p>		主な実施内容	参加人数	11/8 (土)	大正琴演奏	181人	体組成測定・ベジチェック	328人	講座「包括的性教育をめざした授業 を大人も受けてみよう」	38人	その他を含む合計	1,951人 (895人)	11/9 (日)	ジェンダートーク&ライブ 「自分 らしく生きる」(ハリウリサ氏)	79人	赤ちゃんから楽しめる クラシック コンサート	136人	講座「性暴力のない社会社会を目指 して～“同意”って何だろう?～」	※ 講師体調不 良に伴い中止	その他を含む合計	1,245人 (1,566人)
	主な実施内容	参加人数																				
11/8 (土)	大正琴演奏	181人																				
	体組成測定・ベジチェック	328人																				
	講座「包括的性教育をめざした授業 を大人も受けてみよう」	38人																				
	その他を含む合計	1,951人 (895人)																				
11/9 (日)	ジェンダートーク&ライブ 「自分 らしく生きる」(ハリウリサ氏)	79人																				
	赤ちゃんから楽しめる クラシック コンサート	136人																				
	講座「性暴力のない社会社会を目指 して～“同意”って何だろう?～」	※ 講師体調不 良に伴い中止																				
	その他を含む合計	1,245人 (1,566人)																				

(2) エル・ソフィア 1階ロビー展示
10月31日（金）から11月9日（日）まで
ア [内閣府] 女性に対する暴力をなくす運動啓発
イ 男女共同参画促進パネル展示 等

5 参加者の声（抜粋）

- (1) ホール企画
ア (ハリウリサさんの講演) 普段の生活をしていると（LGBTについて）考えることがないため、このような機会の都度、考えるきっかけとなります。ありがとうございました。
イ (赤ちゃんから楽しめるクラシックコンサート) 子どもが両手を挙げて楽しんでいました。大変有意義なフェスタだと感じました。
ウ (赤ちゃんから楽しめるクラシックコンサート) 子どもの昼寝のタイミングと重複したため、午前の部があると良かったです。
- (2) イベント全体
ア たくさんの方が参加されていて、とても楽しそう。活気があると思いました。
イ 楽しみながら情報を知ることができました。
ウ 地域に密着した、とても素晴らしいイベントでした。

6 今後の方針

- (1) 今年度の結果を踏まえ、今後も足立区女性団体連合会と連携し事業を実施していく。
- (2) 子育て世代や若年層、男性など幅広い世代の参加を促すため、ネームバリューのある講師招致やオンデマンド配信導入等による予算増額の検討を進めていく。
- (3) 令和7年度は土曜日の開催時間を見直した。区民が参加しやすい時間帯での開催について、足立区女性団体連合会と相談のうえ次年度の実施日時を検討する。

令和6年度	令和7年度
午後1時から5時まで	午前10時から午後3時まで

7 その他

11月8日（土）L・フェスタ終了後、足立区女性団体連合会主催で「足立区女性団体連合会創立40年記念式典」を実施した。

日 時	令和7年11月8日（土）午後4時から5時30分まで	
場 所	エル・ソフィア 4階 ホール	
内 容	第1部 式典 第2部 コンサート（ミレニアムシンガーズ）	
参 加 者 数	来 賓	25人
	足立区女性団体連合会関係者	112人
	合 計	137人

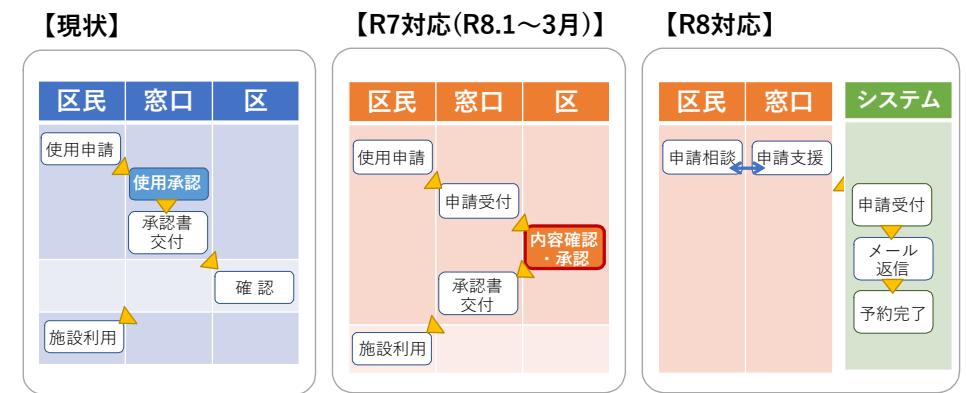
区民委員会情報連絡

令和7年12月5日

件名	生涯学習関連施設の使用申請及び使用料減免手続きの運用変更について														
所管部課名	<u>地域のちから推進部生涯学習支援室地域文化課</u> 生涯学習支援課、スポーツ振興課、都市建設部道路公園整備室公園維持課、施設営繕部庁舎管理課														
	令和8年1月から生涯学習関連施設及びスポーツ施設の施設使用申請及び使用料の減額免除手続きについて、一部運用方法を変更するため、次のとおり報告する。														
	1 変更に至る経緯 現在、生涯学習関連施設及びスポーツ施設では、使用申請及び使用料減額免除申請の承認を指定管理者または業務委託職員が行っている。 しかし、使用申請及び使用料減額免除の決定行為は、区または指定管理者が行うべき行政処分であり、下表のとおり委託等で行うことができない行為であることが確認された。 については、令和8年1月より区が決定行為を行う運用に改める。														
	<table border="1"><thead><tr><th>業務の形態</th><th>窓口数</th><th>使用申請の承認</th><th>減額免除の承認</th></tr></thead><tbody><tr><td>指定管理業務</td><td>20か所</td><td>可</td><td>不可</td></tr><tr><td>業務委託</td><td>2か所</td><td>不可</td><td>不可</td></tr></tbody></table>			業務の形態	窓口数	使用申請の承認	減額免除の承認	指定管理業務	20か所	可	不可	業務委託	2か所	不可	不可
業務の形態	窓口数	使用申請の承認	減額免除の承認												
指定管理業務	20か所	可	不可												
業務委託	2か所	不可	不可												
内容	2 変更点 (1) 使用申請手続きの見直し 業務委託による窓口（庁舎ホール、千住スポーツ公園）では区担当所管と連携し、次のとおり対応する。														
	<table border="1"><thead><tr><th>窓口</th><th>対応方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>庁舎ホール</td><td>予約開始となる毎月第1営業日に予約が集中している。 ① 第1営業日には、庁舎管理課職員が受付に立会い、承認決定を行う。 ② その他の日は、申請ごとに電話連絡を取り、庁舎管理課で承認を行う。</td></tr><tr><td>千住スポーツ公園</td><td>次の2段階※で対応を見直す。 令和8年1月から3月まで ① 窓口で申請を受理した際に、所管する公園維持課にロゴチャットで内容確認を依頼する。 ② 速やかに区担当者が承認し、窓口に返信する。</td></tr></tbody></table>			窓口	対応方法	庁舎ホール	予約開始となる毎月第1営業日に予約が集中している。 ① 第1営業日には、庁舎管理課職員が受付に立会い、承認決定を行う。 ② その他の日は、申請ごとに電話連絡を取り、庁舎管理課で承認を行う。	千住スポーツ公園	次の2段階※で対応を見直す。 令和8年1月から3月まで ① 窓口で申請を受理した際に、所管する公園維持課にロゴチャットで内容確認を依頼する。 ② 速やかに区担当者が承認し、窓口に返信する。						
窓口	対応方法														
庁舎ホール	予約開始となる毎月第1営業日に予約が集中している。 ① 第1営業日には、庁舎管理課職員が受付に立会い、承認決定を行う。 ② その他の日は、申請ごとに電話連絡を取り、庁舎管理課で承認を行う。														
千住スポーツ公園	次の2段階※で対応を見直す。 令和8年1月から3月まで ① 窓口で申請を受理した際に、所管する公園維持課にロゴチャットで内容確認を依頼する。 ② 速やかに区担当者が承認し、窓口に返信する。														

窓口	対応方法
千住 スポーツ 公園	<p>令和8年4月以降</p> <p>窓口対応をオンライン予約のサポート窓口とする。タブレット等を用意し、オンライン予約ができない方や端末をお持ちでない方の申請を手伝う。</p> <p>※ 3月までにシステム登録を行い、施設内の弓道場や相撲場等もオンラインでの予約に対応する。</p>

《千住スポーツ公園の使用申請の業務フローの変更》



(2) 使用料減額免除手続きの見直し

22か所の全窓口における減額免除申請について、次のとおり承認方法の見直しを行う。

ア 申請期間の短縮

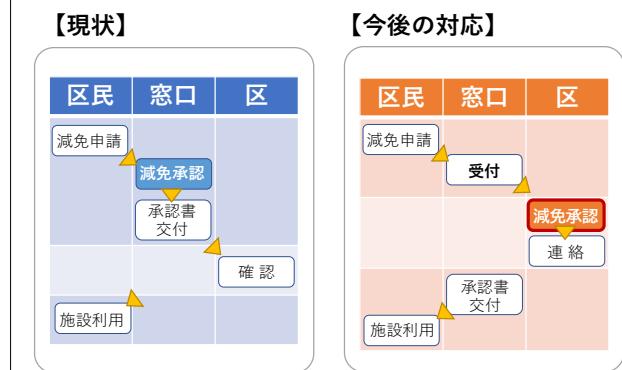
原則、申請期限を使用日の1週間前まで*とし、使用日までに区が承認する。申請内容の確認・証明として仮予約票を交付する。

※ 減免を伴う施設予約は、おおむね3か月前には完了している。ただし、使用の直前に予約した場合や変更が生じた場合は、窓口と区担当所管で電話連絡を取り、個別に対応する。

イ 区所管課での承認

受理した申請書を区（各所管課）へ送り、区担当者が承認決定を行う。使用承認書は、後日窓口で受け取るか予約サイト（利用者登録が必要）から確認する。減免決定書は窓口で受け取る。

《減免申請の業務フローの変更》



3 運用変更日

新たに仮予約票の発行機能を利用するため、新予約システムの運用開始に合わせる。

変更日 令和8年1月7日（水）

4 今後の方針

区ホームページ、各施設窓口で広く周知するとともに、使用料減免対象となる団体へ個別にチラシを配布して周知を徹底する。

区民委員会情報連絡

令和7年12月5日

件名	令和8年2月までのパラスポーツイベントの開催について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室スポーツ振興課
内容	<p>令和8年2月までに予定しているパラスポーツイベントについて、次とおり開催する。</p> <p>1 パラスポーツ体験会 ~知って、エンジョイ！パラスポデー！~</p> <p>(1) 目的 主として健常の方に向けて、パラスポーツを中心に「誰とでも一緒にできるスポーツ」を体験し、パラスポーツへの理解を深めてもらう。</p> <p>(2) 日時 令和8年2月1日（日）午前10時から午後3時30分まで</p> <p>(3) 会場 総合スポーツセンター</p> <p>(4) 内容 パラスポーツを中心とした「誰でも」楽しめる競技の体験会</p> <p>ア 体験競技（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① カーレット（テーブルカーリング） ② 車いすバスケットボール ③ ゴールボール ④ サウンドテーブルテニス（視覚障がい者卓球） ⑤ 卓球バレー ⑥ ふうせんバレー ⑦ ボッチャ ⑧ 陸上競技用車いす（レーサー）試乗体験 <p>イ 申込方法 当日会場にて受付</p> <p>ウ 参加費 無料</p> <p>① カーレット</p>  <p>② 車いすバスケットボール</p> 

③ ゴールボール



④ サウンドテーブルテニス



⑤ 卓球バレー



⑥ ふうせんバレー



⑦ ボッチャ



⑧ 陸上競技用車いす試乗体験



(5) 共催

足立区、足立区スポーツ推進委員会

(6) 協力

足立区視力障害者福祉協会、N P O 法人カーレットジャパン協会

東京都車いすバスケットボール連盟

公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

2 第4回あだち「レク・ボッチャ」大会

(1) 目的

大会を通じて、障がいのある方・ない方の相互交流のきっかけを作る
とともに、足立区民へのパラスポーツの更なる理解促進に繋げる。

(2) 日時

令和8年2月15日（日）午後1時から4時20分まで

(3) 会場

総合スポーツセンター

(4) 内容（予定）

公式ルールを基本に、誰でも参加しやすいルールのボッチャ大会

	<p>ア 参加チーム 24チーム以下（1チーム3～6人編成）</p> <p>イ 申込方法 区ホームページ内の専用オンライン申請フォームから申込（応募多数の場合は抽選）</p> <p>ウ 参加費 無料</p> <p>（5）共催 足立区、足立区スポーツ推進委員会</p>
--	---

令和6年度の様子



3 三澤記念東京都車いすバスケットボール大会

	<p>（1）目的 誰もが運動・スポーツを「する」「みる」機会の充実を図るとともに、試合観戦を通じて観戦者にパラスポーツへの興味・関心を広げる。</p> <p>（2）日時（予定） 令和8年2月22日（日）午後0時30分から5時30分まで</p> <p>（3）会場 総合スポーツセンター</p> <p>（4）内容（予定） 東京都車いすバスケットボール連盟所属チームによる交流戦の観戦</p>
--	---

席種	場所	定員	申込
特別観覧席	3階	80人	事前申し込み
一般席	4階	400人	当日会場にて受付

	<p>イ 申込方法 特別観覧席は、区ホームページ内の専用オンライン申請フォームから申込（応募多数の場合は抽選）</p> <p>ウ 参加費 無料</p> <p>（5）共催 足立区、東京都車いすバスケットボール連盟</p>
--	---

令和6年度の様子



4 周知方法

- (1) あだち広報 12月25日号への掲載
- (2) 区ホームページへの掲載
- (3) SNSへの投稿
- (4) C4th Home&School の送信
- (5) 区立小中学校でのポスター掲示
- (6) 区施設、障がい者施設、福祉施設、近隣特別支援学校、関係団体等でのポスター掲示・チラシ配布

区民委員会情報連絡

令和7年12月5日

件名	障がい者向けサービスの隣接市への拡充に関する検討結果について
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館
内 容	<p>8月19日の区民委員会において要望を受けた隣接市への障がい者向けサービス拡充について、検討の結果、<u>現時点での拡充を見送ることとする。</u></p> <p>1 アクションプラン「目指す姿」の実現に向けた優先度の設定</p> <p>(1) 現在、「足立区図書館サービスデザインアクションプラン」に記載の「障がい等の有無に関わらず必要な情報との出会いをサポートする」という目指す姿を実現するため、障がい者サービスにおける対象者区分の拡大や内容の充実（以下、「サービスの拡充」という）を検討している。</p> <p>(2) 上記のサービスの拡充に加え、居住要件を緩和した場合、サービス利用の増大により、区民に充分なサービスを提供できない可能性がある。</p> <p>(3) 上記を踏まえ、<u>まずはサービスの拡充についての検討を進め、隣接市への拡充については、それらが決定した後の検討課題とする。</u></p> <p>2 サービス拡充における検討項目（案）</p> <p>学識経験者の意見も聞きながら下記項目等のサービス拡充について検討を進めていく。</p> <p>(1) 対象者区分の拡大</p> <p>① 介護保険における要介護者 ※ 現在は要介護5のみ対象</p> <p>② 精神障害者手帳所持者</p> <p>(2) 内容の充実</p> <p>① 図書宅配サービスにおける返却時の集荷対応</p> <p>② 録音図書再生機貸出における郵送対応 (令和7年12月22日（月）から実施予定) ※ 詳細についてはP15～16を参照</p> <p>3 今後の方針</p> <p>サービスの拡充について、福祉部関連所管との協議や学識経験者へのヒアリングを行いながら検討を進め、令和8年度上半期を目途に結果を報告する。</p>

《参考1》足立区と隣接市におけるサービス内容の比較

埼玉県の隣接市においては、「録音図書再生機貸出」や「図書の宅配サービス」を実施していない市が多い。

市区名	主なサービス内容*				
	①録音	②点字	③再生機	④宅配	⑤朗読
足立区	○	○	○	○	○
草加市	○	○	×	×	○
八潮市	○	○	×	×	○
川口市	○	○	×	○	○

* 主なサービス内容

- ① 録 音：録音図書貸出
- ② 点 字：点字図書貸出
- ③ 再生機：録音図書再生機貸出
- ④ 宅 配：図書の宅配サービス
- ⑤ 朗 読：対面朗読サービス

《参考2》隣接区在住者の利用状況

9月1日から拡充した隣接区在住者におけるサービスの新規利用者は、1名のみである。

区民委員会情報連絡

令和7年12月5日

件名	録音図書再生機貸出における郵送対応の実施について												
所管部課名	地域のちから推進部生涯学習支援室中央図書館												
内 容	<p>「区民の声」にて寄せられた要望を踏まえ、視覚障がい者向けの録音図書再生機の貸出サービスについて、郵送での貸出対応を令和7年12月から開始する。</p> <p>1 目的 図書館に来館することが困難な視覚障がい者へ、録音図書再生機を直接郵送で届けることで、録音図書利用における利便性の向上を図る。</p> <p>2 新たに実施する郵送サービスの内容</p> <p>(1) 対象区分ごとの利用可否</p> <table border="1"><thead><tr><th>対象区分</th><th>手帳取得済</th><th>手帳未取得^{※2}</th></tr></thead><tbody><tr><td>区内在住</td><td>○ (送料負担なし)</td><td>× (窓口での貸出は可)</td></tr><tr><td>隣接区在住</td><td>○ (送料負担あり^{※1})</td><td>× (窓口での貸出は可)</td></tr></tbody></table> <p>※1 隣接区在住者の送料負担について 足立区の録音図書再生機貸出は更新が無条件で可能な点など、隣接区に比べて手厚い。無料の郵送対応を可とすると、区外からの流入が増大し区民へのサービスが低下する懸念があるため有料とする。</p> <p>※2 手帳未取得者の取り扱いについて 録音・点字図書の郵送は、障がい者手帳を取得していない利用者へは実施していない。整合性を考慮し、郵送対応は行わず中央図書館での受取のみとする。</p> <p>3 開始時期(予定) 令和7年12月22日(月)</p> <p>4 更新期限の延長 郵送サービス開始による貸出利用の増を見込み、更新手続きにかかる負担軽減と郵送経費の縮減を図るため、貸出期限更新について、<u>現状の3か月から6か月に延長する</u>。</p>	対象区分	手帳取得済	手帳未取得 ^{※2}	区内在住	○ (送料負担なし)	× (窓口での貸出は可)	隣接区在住	○ (送料負担あり ^{※1})	× (窓口での貸出は可)			
対象区分	手帳取得済	手帳未取得 ^{※2}											
区内在住	○ (送料負担なし)	× (窓口での貸出は可)											
隣接区在住	○ (送料負担あり ^{※1})	× (窓口での貸出は可)											

5 今後の方針

既存の利用者に対して個別に案内をするとともに、ホームページやSNS等により幅広く周知を行う。